

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0852
 住 所 川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号
 氏 名 医療法人社団 こうかん会 印
 理事長 鈴木 修
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団 こうかん会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院、一般診療		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,328	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務人事部 設備保全室
		所在地	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号
		電話番号	044-344-7778
		FAX番号	044-333-5599
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,447 t-CO ₂ (調) 3,868	(実) 4,767 t-CO ₂ (調) 4,169	(実) 4,257 t-CO ₂ (調) 3,740	(実) 4,110 t-CO ₂ (調) 3,612	(実) 4,269 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -7.2 % (調) -7.8 %	(実) 4.3 % (調) 3.3 %	(実) 7.6 % (調) 6.6 %	(実) 4.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	中長期計画の南病棟の空気調和装置のインバータ装置の導入を実施した。これにより、85.63 t-CO ₂ の排出の削減を実現した。しかし、平成22年度は夏が非常に暑く、また冬が寒く、このことによる温室効果ガスの排出量の増加により、削減効果が出ず、かえって排出量が、増加してしまった。
第2年度	1. 23年度は、昨年度に鑑み、特に夏場での病院監視室「マド」管理（監視）を強化し、最大目標電力を数値として強制停止等の対応を図った。 2. 中長期計画として以下の項目を実施し、効果を得た ①北病棟の空気調和装置(AHU)のインバータ化(5台) ②南病棟窓ガラスに省エネ対応フィルムの張付け ③北病棟CCU室空調機(PMAC)のINV化 ④外来棟空調機(AC2)へ温湿度自動制御システムの導入 ⑤照明器具のhfc化と間引強化 以上の結果、温室効果ガスは、約4%削減することができた
第3年度	24年度より定期的(1/2M)に省エネ推進会議を開催、又夏季を中心に省エネコントロール(1/M)で実施し節電に対する職員の意識向上効果が出てきている。 加えて、中長期的な省エネ対応策の継続推進にて、目標4%に対して、(実)7.6%削減することが出来た。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 基本対策 1) 省エネルギーを推進するための推進組織体制の確立、整備 2) 主要設備の保全管理、管理標準、運転マニュアルの整備。 2. 目標対策 1) 病室の空気調和装置にインバータ装置を導入する。 合わせて、運転方法の変更をする。
	第1年度	1. 基本対策 1) 主要設備の管理標準、運転マニュアルの作成を進めている 2. 目標対策 1) 南病棟の空気調和装置にインバータ装置を導入する。 合わせて、運転方法の変更をする。 2) ボイラの運転方法を変更する。
	第2年度	1. 北病棟の空気調和装置にインバータ装置を導入し、運転方案の変更を実施する 2. 南病棟窓ガラスに省エネフィルムを張付け遮光、遮熱対応とした。 3. 北病棟CCU室内空調機(PMAC)をインバータ化として更新した。 4. 外来棟空調機(AC2)に温湿度自動制御システムを導入し、無駄のない温湿度制御とした。
	第3年度	1. 24年度より定期的(1/2M)に省エネ推進会議を開催、又夏季を中心に省エネパトロール(1/M)を実施し節電に対する職員の意識向上効果が出てきている。 2. 省エネ関係の設備計画として以下の項目を実施し、効果を得ている ①病棟照明(120箇所)をHF蛍光灯に交換 ②北病棟の窓ガラスに省エネ対応フィルムを張付け ③PACエアコンの更新、他 3. 空調設備のINV化については、26年以降も継続更新予定とする。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 廃棄物の減量化、分別化を行う。 2) 当院への資材、機器、廃棄物などを搬入、搬出などで、来院される関係業者の皆様へ、川崎市の「エコ運搬制度」について、説明し、協力を要請している。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1) 廃棄物の減量化、分別化を行う。 2) 当院への資材、機器、廃棄物などを搬入、搬出などで、来院される関係業者の皆様へ、川崎市の「エコ運搬制度」について、説明し、協力を要請している。
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入を行う。(継続) 2. 廃棄物の減量化、分別化を行う。(継続) 3. 当院へ来院される関係業者の「エコ運搬制度」への協力要請。(継続) 4. 院内従業員のケルビスの運用 (ノネクタイ)
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入及びトップランナー適合品の購入の推進。(継続) 2. 廃棄物の減量化、分別化の推進。(継続) 3. 川崎市のエコ運搬制度の協力要請。(継続) 4. 各事務室温27℃設定とケルビスの運用。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,375	t-CO ₂
(調)	4,369	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本鋼管病院	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番地1	8311	医療	4,011 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	1
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--